



# わかみどり

<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp>



平林小学校 校長 遠藤 直人

本日をもって2学期が終了しました。2学期も、本校の教育活動に対し、保護者の皆様、そして地域の皆様から多大なるご理解とご協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。日々の見守りや温かな励ましが、子どもたちの安心した学校生活と学びを支えてくださいました。

## 家庭学習の取組について（2学期の振り返り）

さて、本校では2学期より、教師が一律に宿題を出す形をやめ、子ども自身が家庭学習の内容や量を考えて取り組む実践に挑戦してきました。2学期当初、保護者の皆様には、「自分で課題を見つけ、自ら学び続けることができる『自律した学習者』を育てたい」という目的をお伝えしました。

家庭学習には、

### ①学習内容の定着 ②学習習慣の定着

という大切な役割があります。しかし、学習の定着には一人一人の理解度に応じた取組が必要であり、また、学習習慣も「やらされている」限りでは身につきにくいことが分かっています。将来にわたって学び続ける力を育てるため、自分で考え、調整し、選択する力（自己調整力）を家庭学習の場面で育てたいと考えました。

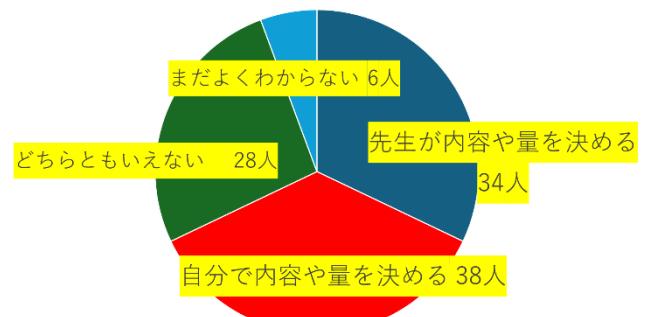
## 児童アンケートの結果から

2学期末に、全校児童を対象にアンケートを実施しました。終業式では、この結果を全校児童に提示し、振り返りを行いました。

### ①「家庭学習はどちらがよいか」

理由には、

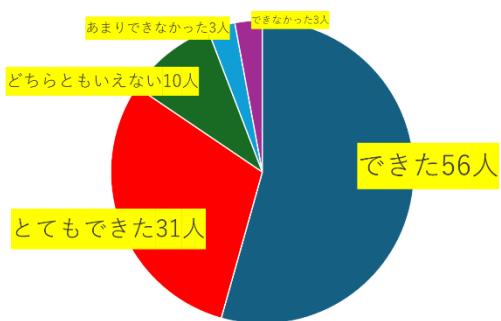
「苦手なところを重点的にできる」「自分のペースで計画できる」という前向きな声がある一方、「自分で決めるとサボってしまう」「何をしたらよいか迷う」といった正直な声も多くありました。自分で学ぶことの難しさを実感している姿がうかがえます。



一方で、次のような結果も得られました。

②家庭学習で自分が苦手なところや、重点的に学習した方がよいところを意識できましたか

③自分で決めた学習内容は、理解や定着につながったと感じますか。



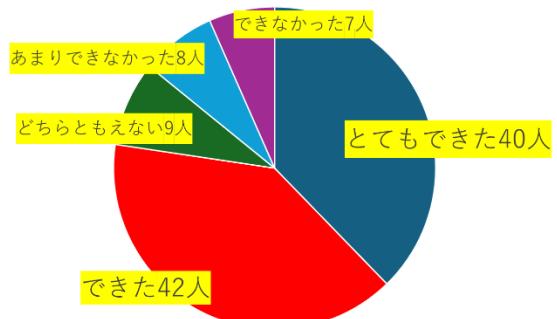
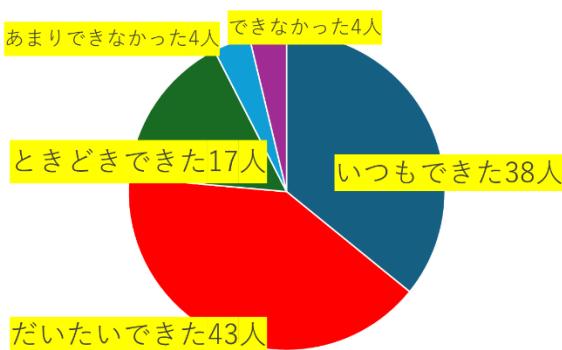
④テストや学習のめあてに向けて、計画を立て取り組むことができましたか。

⑤家庭での学習時間や内容を、自分で判断する場面が増えましたか。



⑥「やらされている」ではなく、「自分でやろう」と思って家庭学習をすることができましたか。

⑦学習・読書・趣味などの時間の使い方を、自分で考えて調整できましたか。



※ 1~4年生には「②「ここはまだむずかしいな」「もっとれんしゅうしたほうがいいな」と思うところに気づけましたか。」等のように表現をわかりやすくしてアンケートを実施

自由記述には、

「テストの点数が上がった」「達成感を感じた」「宿題が嫌いではなくなった」「自分の苦手なところを集中して練習できた」といった成長を実感する声が多く見られました。

## 見えてきた課題と今後に向けて

その一方で、「勉強時間が減った」「後回しにしてしまった」「何をすればよいか分からなかった」という課題も明確になりました。自分で学ぶ力は、一朝一夕で身につくものではありません。失敗や迷いを経験しながら、少しずつ育っていく力です。

今後は、

- ・学習内容の選び方の具体例を示す
- ・振り返りの仕方を丁寧に指導する
- ・必要に応じて教師が支援する

など、「任せきり」にしない支え方を工夫していきます。

## おわりに

2学期の取組は、子どもたちにとって「楽」な取組ではありませんでした。しかし、自分の弱さと向き合い、考え、悩みながら学ぼうとする姿は、確かな成長の証です。

これからも学校と家庭が連携しながら、将来につながる学ぶ力を大切に育てていきたいと考えています。引き続き、ご理解とご協力を願いいたします。



### ○新潟県ジュニア展覧会

- ・優秀賞 4年 田中 伶治 さん
- ・奨励賞 1年 後藤 快吏 さん
- 2年 田中 真衣 さん

### ○税にかんする絵はがきコンクール

- ・努力賞 6年 石田 柚稀 さん



家庭学習の取組について、保護者の皆様からのご意見もお待ちしています。下記のフォームのQRコード、リンクからお寄せください。

平林小学校ホームページ

<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp/index.html>

引き続き、下記のリンク・またはQRコードからご意見・ご質問をフォームでお聞かせください。お電話等でも隨時、お待ちしています。

<https://forms.gle/hQwLNPLjjAzfwkV57>

